

# 建築確認手続き期間で日事連調査

## ピアチェックあり平均101日

### 対象案件、半数超が低層建築

日本建築士事務所協会 算ルート1での設計を目標とする実態も明らかになった。

ピアチェックの対象となった建築物の規模をみると、低層が52%、中層(3~5階建て)が31%、高層(6階建て以上)が17%。対象が建築物の規模ではなく、構造計算の方法(ルート2以上)で決まっており、回答の中には「ピアチェックに回らないようにする」「ルート1にする設計を目標とする」との回答も多かった。

ピアチェック制度が設計方向の制約になっていると、実態が浮き彫りになっている。小規模建築物などのピアチェック対象を限定するなどの見直しを求める声も多く上がった。日事連は、構造技術者の確保など確認審査に至るまでの現状や、増加した業務に対する報酬などについて、追加アンケートを今月中にも実施する予定。

調査は、2月6日~15日に会員事務所500社を対象に実施。07年11月~08年1月に確認審査を終了した物件について調査し、445社から回答を得た。

日本建築士事務所協会 連合会(日事連、三栖邦博会長)は14日、改正建築基準法の施行で遅れている建築確認の手続き期間についてのアンケート結果を発表した。構造計算適合性判定(ピアチェック)があった物件の平均手続き日数は、07年11月~08年1月の3カ月で事前相談に34日、確認審査に67日の合わせて101日間となった。このうちピアチェックには37日間を要していた。ピアチェック物件の半分は2階建て以下の低層建築物が占めており、ピアチェックの対象にならない構造計

算ルート1での設計を目標とする実態も明らかになった。調査は、2月6日~15日に会員事務所500社を対象に実施。07年11月~08年1月に確認審査を終了した物件について調査し、445社から回答を得た。

ピアチェックの対象となった建築物の規模をみると、低層が52%、中層(3~5階建て)が31%、高層(6階建て以上)が17%。対象が建築物の規模ではなく、構造計算の方法(ルート2以上)で決まっており、回答の中には「ピアチェックに回らないようにする」「ルート1にする設計を目標とする」との回答も多かった。

ピアチェック制度が設計方向の制約になっていると、実態が浮き彫りになっている。小規模建築物などのピアチェック対象を限定するなどの見直しを求める声も多く上がった。日事連は、構造技術者の確保など確認審査に至るまでの現状や、増加した業務に対する報酬などについて、追加アンケートを今月中にも実施する予定。

調査は、2月6日~15日に会員事務所500社を対象に実施。07年11月~08年1月に確認審査を終了した物件について調査し、445社から回答を得た。

#### 鋼構造協会ら

## 図書省略認定取得を検討

### 構造計算の審査円滑化へ

昨年6月施行の改正建築基準法に基づく構造計算の審査を円滑に進めるため、構造形式の「図書省略認定」を取得する動きが相次いでいる。日本鋼構造協会が、一般に流通している鋼材を用いたS造建築物を対象に検討

を進めているほか、沖縄県では、台風が多いため、樹木が少ないことから、一戸建て住宅でもRC造を採用する割合が高い。ピアチェックが必要となり、建築確認の停滞が依然、問題になっている。沖縄県住宅供給公社は、早ければ年内に第1号認定を申請する見通しで、徐々にバリ

図書省略認定制度は、RC造の一戸建て住宅について同認定を取得する考え。認定を取得すれば、認定内容に沿った建築物に一部を省略化できる仕組み。プレハブ住宅などで多く活用されている。S造の駐車場などでも適用例があるという。

図書省略認定制度は、RC造の一戸建て住宅について同認定を取得する考え。認定を取得すれば、認定内容に沿った建築物に一部を省略化できる仕組み。プレハブ住宅などで多く活用されている。S造の駐車場などでも適用例があるという。

図書省略認定制度は、RC造の一戸建て住宅について同認定を取得する考え。認定を取得すれば、認定内容に沿った建築物に一部を省略化できる仕組み。プレハブ住宅などで多く活用されている。S造の駐車場などでも適用例があるという。

建設 2008. 3. 17